

なかま

軽やかに 黄バス割り込む 夏の入り
炎天の 赤土あらわ 急ぐアリ

行事予定表

- 6月15日 JASLスピーチコンテストと卒業式
総務オフィスミーティング
- 6月22日 漢字検定 12:20~ 210 教室
- 8月17日 休み明け初日
- 8月30日 (土) は授業日になります。

去る6月4日、ニューヨークの国連国際学校で、**国連俳句コンテスト**の授賞式が行われました。プリンストン日本語学校からは5名の生徒が入選し、小野尚美さん(中2)が特別賞を受賞しました。おめでとうございます!



小川アミア Ogawa Amelia (JASL1)
「あたらしいともだちできた ゆきだるま」
A new friend, I've got: a snowman

森島 明 Morishima Mei (JASL3)
「はるのかぜ かみをゆらして さわさわと」
Spring wind, sways my hair, rustling rustling

小川ジュリアン Ogawa Julian (JASL4)
「ふゆおわる はるがきたなら ぼくはそと」
The winter ends. If spring has come, I'll be out

フランクリン洋子 Franklin Yoko (JASL4)
「いえのそと ゆきのやまだよ すべりだい」
Outside our house, it's a snow hill, look, it's a slide

小野尚美 Ono Naomi (中2)
「まどガラス みんなの顔が 写ってる」
The windowpane everyone's face reflected in it

百聞は一見に如かず!

この夏に日本に行く人、またはそのほかの国に行く人、国内で楽しい予定がある人、みんな元気で帰ってきてください。色々な困難があっても、それらを突破して、最後までがんばって、大きな大きな宝物を手に入れてください。

プリンストン日本語学校新聞



平成26年度 No.11号

平成26年 6月15日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

日本史シリーズ(4)「法隆寺の宝物」

法隆寺五重塔は現存する世界最古の木造建築として知られています。木造建築の耐久性の高さに驚かされますし、当時の建築家の能力の高さに感心させられますが、その風雪を耐えてきたざらざらした木肌に歴史を重ね合わせるときに、さらなる感動を禁じ得ません。聖徳太子(574~622)ゆかりの法隆寺にはたくさんの宝物が残されています(宝物の多くは東京国立博物館の法隆寺宝物館に収蔵)。

教科書では飛鳥文化として①アジャタ石窟の壁画に似た法隆寺金堂の壁画、②竜門の石仏と似た法隆寺の釈迦如来像、③韓国の弥勒菩薩像と似た法隆寺の弥勒菩薩像を対比させて写真を載せています(いずれも国宝)。大陸の進んだ技術にならって仏師たちが全力で製作した作品からは、彼らの並々な心意気が感じられます。その他の仏具や鏡、伎楽面などさまざまなものが法隆寺には残されていますが、そのどれもインドや西域、中国、朝鮮のものであったりその影響を色濃く受けたもので占められています。教科書に示すように飛鳥時代は、日本が大陸の進んだ文化を必死で吸収し学ぼうとした時代であり、ある面では大陸の文化をそのまま受け入れることに力を入れた時代であったと言えるでしょう。その次にやってくる天平文化は飛鳥文化の上にさらに国際化した幅広いものになりました。進んだ文化を取り入れることに忙しかった時代です。外国の人々と互角に渡り合い日本の国力を高めるために奔走した人々の高揚感が感じられます。仏像などの作品を作るということは、モデルを表面的に模倣するだけで出来ることではなく、その本質や価値を理解することから始めなければならないはずです。その探究するエネルギーはどこから出てくるものなのでしょうか。

その後も長い間、日本の知識人たちは海外に新しいものを求めてきて日本の地に多くの文化を根付かせることにエネルギーを注ぎ、場合によっては自らの命を失うことも厭いませんでした。危険を冒してまで求めたものが日本の社会と時代を変えていったといっても過言ではないでしょう。いつの時代にあっても、人々の先頭を行く人たちのすさまじい情熱を感じます。

特に法隆寺はその歴史の古さとともに、大陸との結びつきが直接感じられる空間としてとても貴重なものに思われます。

